



# 玉川通信

～ かけはし ～

学校だより NO. 10  
令和7年 1月31日  
昭島市立玉川小学校  
校長 小瀬 和彦

暮冬の候となってまいりましたが、保護者・地域の皆様には、御健勝のことと存じます。日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

本校では、今年度から児童会選挙を実施します。このことにあたり、四年生・五年生・六年生を対象に、次のようなお話をしました。

## 児童会選挙に向けてのお話

「主体的に自らの人生を切り拓き、いろんな人と合意形成を図りつつ、持続可能な社会を創造していくことができる人」になってほしい！これが玉川小学校の先生たちの共通の願いです。

主体的と自主的は、違います。自主的とは、他者が決めたことを率先して実行することです。主体的とは、自分がやることを決め、自分から率先して実行することです。

命令されて生きるのではなく、自主的に生きるのではなく、「主体的に生きる」権利です。これを、国民主権といいます。国民主権これは民主主義の基本です。皆さんも18歳になると選挙に参画することになります。そのときまで、「主体的に生きる」力を身に付けていく必要があります。

ところで、みなさんは、今を生きています。みなさんにとっての社会、それは毎日、通学し、生活している、この玉川小学校です。

校長先生は、皆さん自身の手で、もっと、もっと、玉川小学校の1年生から6年生までが、「ワクワクする学校、毎日通いたくなる学校、楽しい学校」を築いてほしいと願っています。

そのために、皆さん一人一人の意見や思い・考えを聴いたり、玉川小学校がもっと良くなるように願ったりすることができるようなリーダーを、みなさん一人一人が選べるよう児童会選挙を行うことにしました。

皆さんのうち、会長として、副会長・書記として、素晴らしい玉川小学校を創っていきたい、と思っている人は、進んで立候補してください。是非、手を挙げてください。

また、選挙には、児童のみなさん、全員が参加します。玉川小学校の児童一人一人が、立候補者の話をしっかり聴いて、「この人なら、玉川小学校のリーダーとしてふさわしい」人を選んでください。決して、誤った情報、フェイクニュースではなく、事実をしっかりと見極めて、あなた自身の手で投票してください。

そして児童会でよく話し合い、合意形成して、みんなで玉川小を、よりよい学校にしていきたいでしょう。

合意形成とは、違う意見・考えでも、すぐ否定したり、拒絶したりするのではなく、お互いに分かりやすく自分の考えを説明し合うことです。民主主義をせまく捉えてしまうと、「多数決で決めたのだから！」、「あとはだまってみんなに従う」ということになってしまいます。何度も何度も話し合い、歩み寄り合意形成していくことが大切です。多数派は、少数派の意見や考えを尊重してこそ、本当の意味での民主主義なのです。

是非、このことを理解できる人に、みなさんにリーダーとして立候補してほしいと思います。

以上で、校長先生のお話を終わります。

## 2月の生活目標 「寒さに負けず元気に過ごそう」

- <学級での取組>・厚着をしないで元気に過ごす。  
・休み時間は、外で元気に遊ぶ。  
・うがいや手洗いをしっかりとる。

